

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第19週 (ARIのみ第18週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (19週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核及び結核性ぶどう膜炎	なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 307 人(定点当たり 20.2)で、前週比 70%と減少した(連休含む)。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

また、第 18 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,199 人(定点当たり 42.8)で、前週比 107%と増加した。

【RSウイルス感染症】

報告数は 23 人(1.5)で、前週比 115%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.2)の約 7.3 倍であった。年齢群別は 1 歳以下が全体の約 7 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

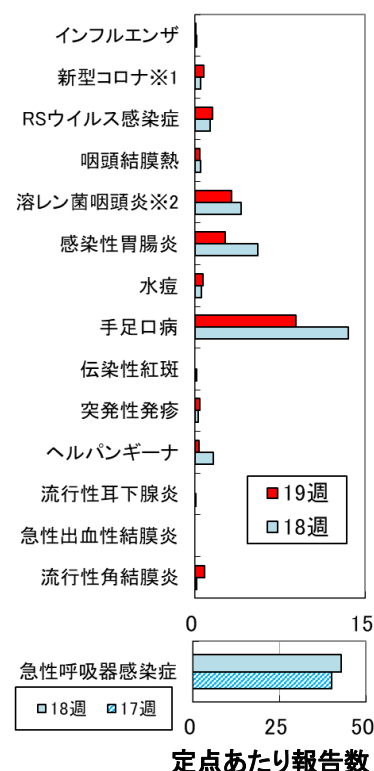
報告数は 49 人(3.3)で、前週比 80%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 1.3 倍であった。年齢群別は 3 歳から 7 歳が全体の約 6 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 134 人(8.9)で、前週比 66%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.2)の約 2.8 倍であった。年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 9 割を占めた。

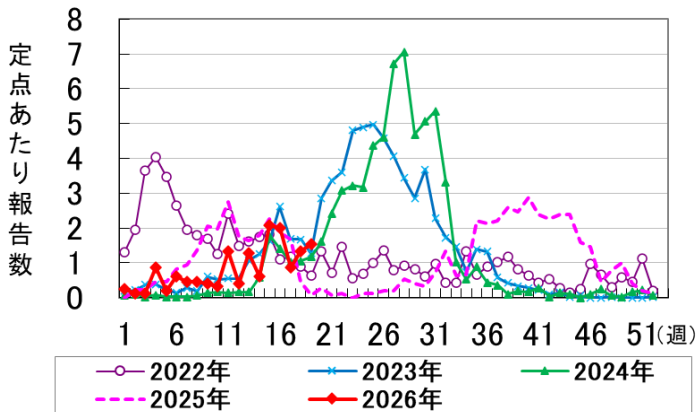
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》



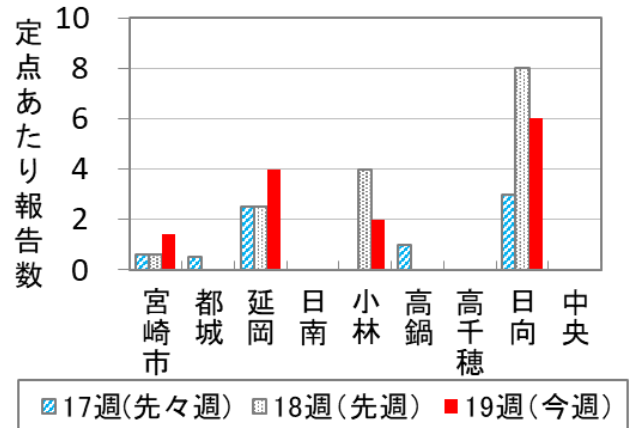
※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭

RSウイルス感染症 発生状況

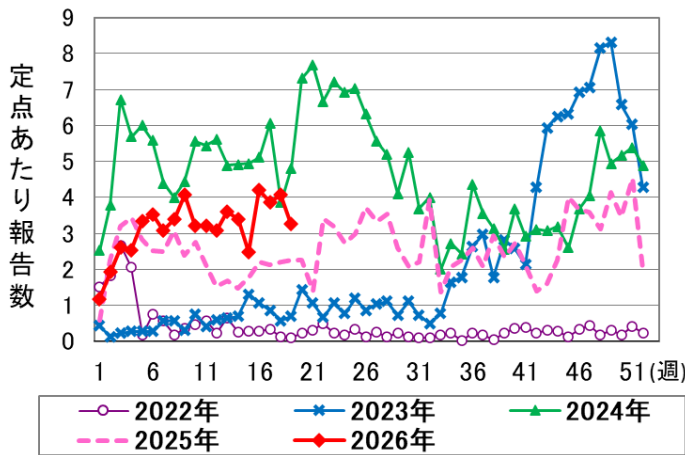


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

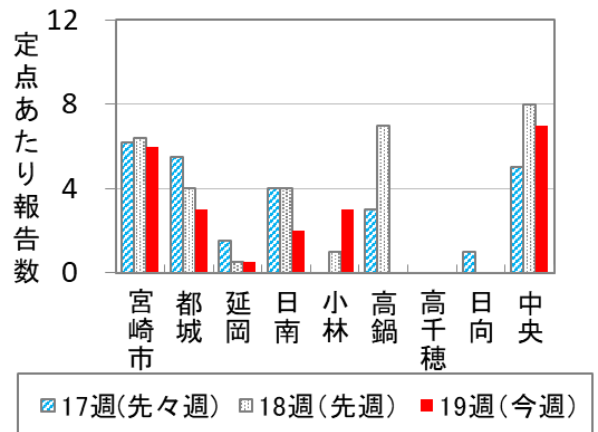


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

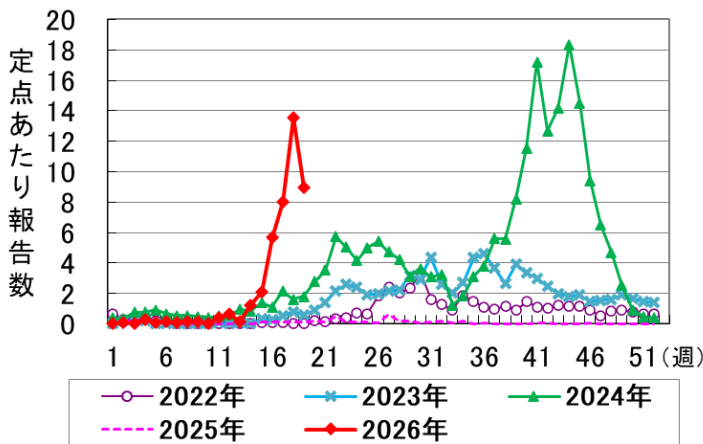


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

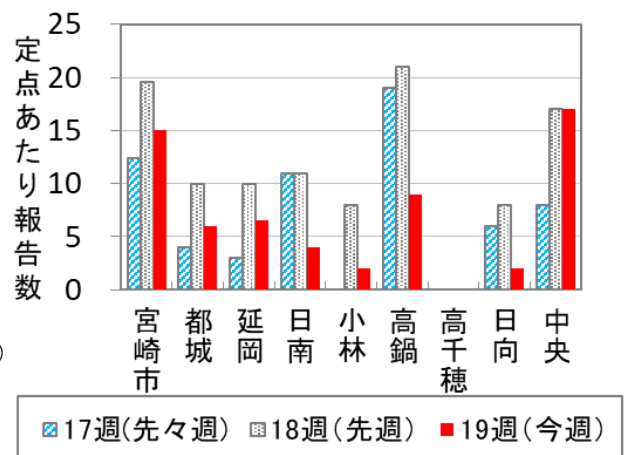


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(15.0)
都城	手足口病(6.0)
延岡	水痘(1.5)、手足口病(6.5)
日南	水痘(2.0)
小林	なし
高鍋	手足口病(9.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)、手足口病(17.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026年第17週:4月20日～4月26日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			7
受付検体数			9

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※¹ 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※² 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 5 月 11 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	70歳代	男	2026.04.07	発熱、下痢	便	2026.04.15

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackie virus A6	0～4歳	女	2026.02.18	手足口病、39.3℃、歯肉炎	咽頭ぬぐい液	2026.04.28
Epstein-Barr virus						2026.04.28
Coxsackie virus A9	0～4歳	男	2026.03.21	麻しん疑い 発熱、気管支炎、リンパ節腫脹、下痢、皮疹	咽頭ぬぐい液	2026.05.11
Measles virus genotype B3	20歳代	女	2026.03.28	麻しん疑い、38.7℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2026.04.28
Measles virus genotype B3			2026.03.28		尿	2026.04.28
Measles virus			2026.03.28		血清	2026.04.28
Influenza virus B (Victoria Lineage)	10歳代	男	2026.03.30	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.05.11
Parvovirus B19	20歳代	女	2026.04.01	麻しん疑い	咽頭ぬぐい液	2026.04.28
Parvovirus B19			2026.04.01		血液	2026.04.28
Parvovirus B19			2026.04.01		尿	2026.04.28
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	5～9歳	男	2026.03.09	インフルエンザB感染症、39.1℃、咽頭炎、咽頭痛	鼻汁	2026.04.28
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	5～9歳	男	2026.03.09	インフルエンザB感染症、39.0℃、咽頭炎	鼻汁	2026.04.28
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	20歳代	男	2026.04.07	インフルエンザB感染症、39.0℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.04.28

○麻しん疑いの患者から麻しんウイルス（B3型）が分離・検出された。県内では2019年に検出されて以来7年ぶりの発生となった。麻しんの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染である。症状出現前から感染力があり、感染力が非常に強い。ワクチン接種による予防が重要である。

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

📊 全国 2026 年第 18 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	246 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	3 例	エムポックス	4 例
	重症熱性血小板減少症候群	11 例	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱	11 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	3 例	レジオネラ症	28 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	64 例
	水痘(入院例)	14 例	多剤耐性緑膿菌感染症	6 例	梅毒	139 例
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	85 例	麻しん	23 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比95%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比102%とほぼ横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は7,214人(3.2)で前週比99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約1.4倍であった。鳥取県(7.0)、茨城県(6.8)、石川県(6.1)からの報告が多く、年齢群別では4歳から7歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は11,088人(4.9)で前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.7)の約0.9倍であった。愛媛県(9.4)、島根県(9.4)、鳥取県(8.9)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第19週(05月04日～05月10日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	5	2	1								1
	定点当り	0.18	0.07	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	14	23	14	1			1		5		2
	定点当り	0.50	0.82	1.56	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	2.50	0.00	1.00
RSウイルス感染症	報告数	20	23	7		8		2			6	
	定点当り	1.33	1.53	1.40	0.00	4.00	0.00	2.00	0.00	0.00	6.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	7	5					2			
	定点当り	0.53	0.47	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	61	49	30	6	1	2	3				7
	定点当り	4.07	3.27	6.00	3.00	0.50	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	83	40	12	2	1	7	5	2		10	1
	定点当り	5.53	2.67	2.40	1.00	0.50	7.00	5.00	2.00	0.00	10.00	1.00
水痘	報告数	9	11	3	1	3	2					2
	定点当り	0.60	0.73	0.60	0.50	1.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	203	134	75	12	13	4	2	9		2	17
	定点当り	13.53	8.93	15.00	6.00	6.50	4.00	2.00	9.00	0.00	2.00	17.00
伝染性紅斑	報告数	3										
	定点当り	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	5	7	5	1						1	
	定点当り	0.33	0.47	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	25	6	4		1						1
	定点当り	1.67	0.40	0.80	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	5	2		3						
	定点当り	0.17	0.83	0.67	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第18週(04月27日～05月03日)

		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1122	1199	319	134	158	88	106	82	60	146	106
	定点当り	40.07	42.82	35.44	33.50	52.67	44.00	53.00	41.00	30.00	73.00	53.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～19週 保健所受理分)

2類感染症	結核	50例(2)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例										
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	4例						
	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	3例								
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例						
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例	水痘(入院例)	4例						
	梅毒	19例	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例						
	百日咳	33例	麻疹	1例								

()内は今週届出分、再掲